

# 緑の風 FAX版



NO. 75 2020年3月10日 JR東労組

JR 東労組ホームページ

## 20春闘を全組合員でたたかおう！



3月8日 本部保線分科会定期委員会で取り組んだ檄布を届けてくれました！



## 20春闘の山場です！

春闘の3要素の「組織力」を強化していくために、職場から全組合員運動を展開していきましょう！

春闘の3要素とは…  
「世間相場」「支払能力」「組織力」

### 電機大手ベア 「千円以上」へ

決着見通し

電機メーカーの労働組合でつづける電機連合は9日、今春闘の大手13社の統一交渉で、ベアアップに相当する「賃金水準改善」が月1千円以上で決着する見通しになったと、明らかにした。前年は1千円ちょうど。1千円超の回答を引き出す労組が出るかが、今後の焦点になる。集中回答日

の歯止めとなる水準を維持した」と語った。電機連合が決着の見通しについて「以上」という表現を用いるのは異例。この点については「引き出す回答額が」上に行けることは認めると社会的な役割を果たした」としている。大手電機メーカーの労使による統一交渉は、昨年とは異なる。計13社で行われている。電機連合は今春闘から、条件としては妥結額のはらつきを認める方針を打ち出している。(吉田貴司)

3月10日 朝日新聞

### 鉄鋼3社ベア見送り

7年ぶり、業績悪化で

日本製鉄、JFEスチール、神戸製鋼所の鉄鋼大手3社は、2020年の春闘労使交渉でベアアップ(ベア)に相当する賃金改善を見送ることを決めた。ベアゼロは7年ぶりとなり、20年度、21年度とも見送る。米中貿易競争の長期化で鋼材需要が低迷し、日鉄は20年8月期に過去最大の最

終赤字を見込むなど各社の業績悪化に対応する。主要産業の鉄鋼大手の方針は他業界の交渉にも影響を与える見通しだ。(関連記事14面)

日鉄など3社が11日に回答する。鉄鋼大手は2年に1度の交渉で、各社の労働組合は20年の春闘交渉で「20年度3000円」「21年度3000円」

鉄鋼業界は世界景気の停滞で、主力の自動車など製造業向けの鋼材需要が低迷。最大の生産国である中国は米中貿易競争の長期化を受けた貿易政策で生産を増やしている。鉄鉱石などの原料コストが高止まりするな

か、鋼材市況が悪化し、各社の収益を下押ししている。3月期の連結最終損益は過去最大の4400億円の赤字を見込む。JFEスチールや神戸製鋼も業績が悪化しており、経営側は収益改善に時間がかかる判断した。

3月10日 日経新聞



3月10日 熱海運輸区分会の仲間が激励に来てくれました！

3月10日 大宮車掌区分会の仲間が激励に来てくれました！

## 20春闘を職場の仲間とたたかおう！